

平成25年度 第2回 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会 事項書

平成25年10月3日(木) 18:30～  
三重県伊勢庁舎 401会議室

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 第1回協議会の概要について【資料2～4】

3 協議事項

(1) 伊勢志摩地域の県立高校の特色化・魅力化について【資料5】

(2) 平成28年度以降の伊勢志摩地域における県立高校の適正規模・適正配置について  
【資料6】

4 諸連絡

次回(第3回)協議会について

平成25年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員

No		所属及び名前	出席委員
1	学識経験者	三重大学 教授 松本 金矢	○
2	地域有識者	亀谷内科胃腸科 院長 亀谷 章	○
3		鳥羽商工会議所 専務理事 清水 清嗣	○
4		志摩市商工会 事務局長 太田 光治	○
5		度会町商工会 事務局長 山北 佳宏	○
6	教育長	伊勢市教育委員会 教育長 宮崎 吉博	○
7		鳥羽市教育委員会 教育長 斎藤 陽二	○
8		志摩市教育委員会 教育長 前田 藤彦	○
9		度会町教育委員会 教育長 藤田 心作	○
10		南伊勢町教育委員会 教育長 仲 立治	○
11	県立高等学校長代表	中北 隆也 (県立明野高等学校)	○
12	小中学校長代表	伊勢市 川口 且也 (伊勢市立宮川中学校)	
13		鳥羽市 浅井 清 (鳥羽市立神島中学校)	○
14		志摩市 森岡 篤裕 (志摩市立片田中学校)	
15		度会郡 奥村 典保 (大紀町立大宮中学校)	○
16	小中学校PTA代表	伊勢市PTA連合会 副会長 森井 務 (伊勢市立明倫小学校)	○
17		鳥羽市PTA連合会 会長 上村 昌史 (鳥羽市立弘道小学校)	○
18		志摩市PTA連合会 会長 小川 晴弘 (志摩市立越賀小学校)	○
19		度会郡PTA連絡協議会 会長 森井 裕 (度会町立度会中学校)	○
20	高等学校PTA代表	南勢地区高等学校PTA連合会代表 山岡 幸雄 (県立水産高等学校)	○
21	小中学校教員代表	伊勢市 中西 康 (伊勢市立厚生小学校)	○
22		鳥羽・志摩地域 谷口 三津夫 (鳥羽市立鳥羽東中学校)	○
23		度会・南伊勢地域 北畠 充生 (玉城町立有田小学校)	
24	高等学校教員代表	池田 久 (県立明野高等学校)	○

平成25年度 第2回伊勢志摩地域高等学校活性化協議会 座席表

平成25年10月3日(木)

18:30~

県伊勢庁舎 401会議室

		会長 三重大学 松本委員	副会長 明野高校 中北委員				
度会町商工会 山北委員					神島中学校 浅井委員		
南勢地区高等学校PTA連合会 山岡委員					明野高等学校 池田委員		
度会郡PTA連絡協議会 森井(裕)委員					鳥羽市PTA連合会 上村委員		
伊勢市PTA連合会 森井(務)委員					志摩市商工会 太田委員		
伊勢市教育委員会 宮崎委員					志摩市PTA連合会 小川委員		
志摩市教育委員会 前田委員					大宮中学校 奥村委員		
	度会町教育委員会 藤田委員	代理 大湊小学校 山本委員	南伊勢町教育委員会 仲委員	鳥羽東中学校 谷口委員	鳥羽商工会議所 清水委員	鳥羽市教育委員会 斎藤委員	亀谷内科胃腸科 亀谷委員
【事務局】							

伊勢志摩地域 中学校卒業者の推移と予測（含社会増）

資料 1

<H25. 5. 1現在>

		H 15. 3 卒業	H 22. 3 卒業	H 23. 3 卒業	H 24. 3 卒業	H 25. 3 卒業	H 26. 3 現中3	H 27. 3 現中2	H 28. 3 現中1	H 29. 3 現小6	H 30. 3 現小5	H 31. 3 現小4	H 32. 3 現小3	H 33. 3 現小2	H 34. 3 現小1
伊勢市	卒業生数	1, 510	1, 375	1, 320	1, 300	1, 266	1, 227	1, 251	1, 236	1, 203	1, 186	1, 174	1, 110	1, 076	1, 083
	前年度対比			-55	-20	-34	-39	24	-15	-33	-17	-12	-64	-34	7
	H25. 3対比						-39	-15	-30	-63	-80	-92	-156	-190	-183
度会郡	卒業生数	552	498	442	484	460	434	420	439	424	389	370	362	310	327
	前年度対比			-56	42	-24	-26	-14	19	-15	-35	-19	-8	-52	17
	H25. 3対比						-26	-40	-21	-36	-71	-90	-98	-150	-133
鳥羽市	卒業生数	294	223	215	217	192	207	186	144	179	175	142	127	147	137
	前年度対比			-8	2	-25	15	-21	-42	35	-4	-33	-15	20	-10
	H25. 3対比						15	-6	-48	-13	-17	-50	-65	-45	-55
志摩市	卒業生数	653	608	531	557	534	526	459	457	440	431	389	381	317	335
	前年度対比			-77	26	-23	-8	-67	-2	-17	-9	-42	-8	-64	18
	H25. 3対比						-8	-75	-77	-94	-103	-145	-153	-217	-199
小計	卒業生数	3, 009	2, 704	2, 508	2, 558	2, 452	2, 394	2, 316	2, 276	2, 246	2, 181	2, 075	1, 980	1, 850	1, 882
	前年度対比			-196	50	-106	-58	-78	-40	-30	-65	-106	-95	-130	32
	H25. 3対比						-58	-136	-176	-206	-271	-377	-472	-602	-570
県内合計	卒業生数	20, 468	18, 608	17, 950	18, 224	18, 120	18, 375	17, 766	17, 833	17, 481	17, 437	16, 830	16, 491	15, 742	16, 187
	前年度対比			-658	274	-104	255	-609	67	-352	-44	-607	-339	-749	445
	H25. 3対比						255	-354	-287	-639	-683	-1, 290	-1, 629	-2, 378	-1, 933

伊勢市内高校 (県立全日)	学級数(募集)		32	30	31	30									
	欠員		0	26	31	3									
伊勢以外高校 (県立全日)	学級数(募集)		15	13	13	12									
	欠員		22	94	97	98									
伊勢地区高校 (県立全日)	学級数(募集)		47	43	44	42									
	欠員		22	120	128	101									
県内(県立全日)	学級数(募集)		337	324	327	324									
	欠員		63	270	299	211									

(私立、高専入学者の状況)

皇學館	募集		355	345	345	345	
	入学者数		323	362	376	362	
伊勢学園	募集		230	220	230	220	
	入学者数		224	249	255	273	
鳥羽商船	募集		120	120	120	120	
	入学者数		137	125	125	126	
3校の欠員数(合計)			21	-51	-61	-76	

## 第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要について

8月29日に開催した第1回協議会では、事務局から「平成24年度協議のまとめ」に基づき、これまでの協議の経緯について説明しました。そのうえで、今年度の協議会の進め方を確認しました。その後、統計的資料に基づき、当地域の県立高校を取り巻く状況について事務局から説明し、協議会全体で共通認識を図ったうえで、当地域の県立高校の活性化に関する意見交換を行いました。

### 主な意見

- 協議時間が限られていることから、何について協議するのか論点を絞るとともに、協議時間を延ばすことや議題ごとに時間を配分すること等について検討してほしい。また、高校の魅力の一つとして、「進路」が重要であると考えているが、そこに論点を絞った協議をするべきである。
- 次回の協議会で協議を深めるために、平成30年頃を見据えた平成28年度以降のこの地域の県立高校のあり方のたたき台となる案を、資料として提示してほしい。
- 高校に進学する時点で、卒業後の進路についてはっきり考えている中学生は少ないのではないかと。高校でいろいろなことを学んで、卒業後の進路についてはっきりした考えを持つようになる子どもも多く、学校行事や部活動などさまざまな活動も高校の活性化にとっては重要な要素となるのではないかと。
- 鳥羽高校では特色ある教育活動が行われているが、今後、維持していけるか危惧している。抜本的な改革も必要になるのではないかと考えており、ワーキング会議と連携のとれた協議を行う必要がある。
- アンケートの結果に総合学科への期待が表れていた。そのニーズと就職等の進路の関係についても議論していく必要があるのではないかと。

## 伊勢まなび高校 出身地域別入学者数

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	普通（午前）	普通（午後）	ものづくり（夜間）	普通（午前）	普通（午後）	ものづくり（夜間）	普通（午前）	普通（午後）	ものづくり（夜間）
津市	1		1	1			1		
松阪市	3	7	2	5	1	4	5	7	1
多気郡	1	4	1		6	1	8	1	
伊勢市	15	9	4	21	17	5	18	12	7
度会郡	7	8	1	6	2	2	1	2	2
鳥羽市	4	1	1	2	8		2	5	
志摩市	2	3	1	1	1		2	1	1
伊賀市								1	
名張市		1							
その他	7	5	5	4	2	5		5	1
合計	40	38	16	40	37	17	37	34	12

県立高校（定時制）の入学者数の推移（平成21～25年度）

資料 4

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
昼間部	北星	普通	40	40	39	41	40
		情報ビジネス	40	40	40	40	40
	みえ夢学園	総合（午前）	40	40	40	40	40
		総合（午後）	40	40	40	41	40
	伊勢まなび	普通（午前）	40	39	40	40	37
		普通（午後）	38	40	38	37	34
小計		238	239	237	239	231	
夜間部	桑名	普通	23	18	10	15	12
	四日市工業	工業技術	51	36			
		機械交通工学			39	24	36
		住システム工学			23	16	15
	北星	普通	39	40	39	39	38
	飯野	普通			60	55	51
	神戸	普通	29	27			
	亀山	普通	15	10			
	みえ夢学園	総合	40	36	39	40	40
	上野	普通	12	16	8	12	12
	名張	普通	23	11	7	7	8
	松阪工業	普通	20	22	15	19	27
	伊勢まなび	ものづくり工学	25	22	16	17	12
	尾鷲	普通	11	11	5	10	12
木本	普通	3	1	7	4	1	
小計		291	250	268	258	264	
合計		529	489	505	497	495	

## 平成25年度 宇治山田高校の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

## (1) 全般

- 授業、ホームルーム活動、部活動を通して、人間関係形成能力や課題解決能力など、社会人として必要な能力の育成に努める。
- 生徒一人ひとりの進路希望の実現を目指し、入学段階から系統的にキャリアガイダンスを進めるなど、進路指導の内容をさらに充実する。

## (2) 進学に関する取組

- 5教科7科目、6教科7科目型受験を最後まで諦めないよう、個別面談週間の設定、県内国公立大学ガイダンスの実施、国公立大学2次試験における中期・後期試験まで視野に入れた指導など、きめ細かな進路指導を行う。また、国公立大学への進学希望者を対象とした集会を随時行い、目標実現に向かう生徒を最後まで継続して支援する。
- 名古屋大学や京都大学への見学会、大学出前授業、国公立受験希望者集会、三重大学ガイダンス等、第1学年から国公立大学への進学を意識した取組を行う。
- 主要国公立大学や私立大学の入試問題分析・研究を行えるよう、関係資料や問題集を整備する。また、図書室や自習室に進路関係図書を整備し、積極的な活用を促す。
- 教職員のチーム体制を整え、推薦入試等受験者への指導内容を充実する。

## (3) 就職に関する取組

- 就職希望調査や校内ガイダンスにより、生徒・保護者の意向を早い時期に把握し、求人開拓に取り組む。

## (4) その他

- 外部講師を招聘し、新しい教育課程に対応した大学入試のあり方や入試状況に関する教員対象の研修会を開催する。
- P T Aによる研修旅行の行程に大学見学を組み入れ、保護者の意識を高める。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立	21人	34人	3人	11人	314人
51人	194人					

## 2 高校生活について

## (1) 学校行事

体育祭、文化祭、合唱祭などの学校行事は、生徒会が中心となり企画・運営をしている。また、東日本大震災以降、生徒会役員が東北へボランティア活動に出向くなど、生徒の自主・自立の精神が浸透しており、生徒主体の取組を積極的に行っている。

## (2) 部活動

運動系と文化系がともに活発である。とりわけ、合唱部、写真部、書道部は全国大会での優勝、入賞の実績がある。また、写真部や合唱部、インターアクト部などが地域と連携した活動を行っているのも特徴である。



## 平成25年度 伊勢高校の進路指導及び高校生活について

### 1 進路指導について

#### (1) 全般

- 知的好奇心にあふれ、高い志を抱き、情操豊かで社会に貢献できる人を育てるために、職業、大学、学部・学科研究を行い、どのようなアプローチで社会に貢献できるかを見つめさせる。
- 生徒が充実した学校生活を送り、それぞれの進路希望が実現できるように、学年団と各校務分掌が連携を図るとともに、3年間を見通した計画的・有機的な進路指導を行う。
- 入学段階で進路について考えさせるなど、早い時期からキャリア教育を始め、生徒一人ひとりの進路に対する意識を高める。
- 大学教授による出張講義やオープンキャンパス、スーパーサイエンスハイスクール事業、ようこそ先輩事業などさまざまな機会に、生きた情報を生徒に提供する。

#### (2) 進学に関する取組

- 何のために進学し、それがどう将来につながっているのかを生徒に認識させる指導を行う。
- 教員の授業力の向上を図ることで、日々の授業における学習を質的・量的に、より充実する。

#### (3) 就職に関する取組

- 就職希望に備え、ハローワークと連携するなど、情報収集に努める。

#### (4) その他

- 志望理由書指導者講習会、面接指導者講習会を開催し、教員の指導力の向上を図る。
- 保護者の寄稿によって作成した「職業体験談集」を「総合的な学習の時間」において活用する。
- 「総合的な学習の時間」を利用し、自己認識、自己確立、自己実現をめざして系統的なキャリア教育を行う。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立					
119人	129人	6人	14人	2人	46人	316人

### 2 高校生活について

- 学校行事や部活動を通じて集団としての行動規範の醸成を図るとともに、リーダーとしての資質や人間性の育成に努めている。
- スーパーサイエンスハイスクール事業を実施する中で、科学分野を中心として探究する力や国際社会で通用するコミュニケーション力を高めるための取組を行っている。科学系の部活動では生徒たちの興味・関心に基づいた研究に取り組んでおり、また、各種の全国コンクールに出場し成果をあげている。

# 平成25年度 伊勢工業高校の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

### (1) 全般

- 進路指導及び進路保障の徹底に努め、生徒一人ひとりの個性や能力を生かした進路の実現を図る。
- キャリア教育を推進することにより、正しい職業観・勤労観を身につけ、主体的に進路選択・進路決定できる生徒を育てる。
- 工業高校の特色である実習は、就職後の職業生活に対する適応力を高めることができ、離職率を抑えている。更なる実習の充実を図り、定着率の向上を目指す。

※ 参考：平成20年度卒業生3年後の離職率

伊勢工業高校	県内工業高校	東海地区工業高校	全国卒業生全体
12.3%	12.4%	13.2%	37.6%

### (2) 進学に関する取組

- 進路説明会、情報交換会などに積極的に参加することによって、生徒のニーズに応じた進学先の決定に必要な情報収集を行う。

※ 参考：指定校推薦枠：75大学、約300人（愛工大・中京大・中部大・名城大など）

### (3) 就職に関する取組

- 県内外への企業訪問をさらに充実し、求人数・内定者数の向上に取り組む。
- 今年度、第53回を数える歴史ある「卒業生・在校生懇談会」を継続するとともに、充実を図る。

※ 参考：平成24年度求人倍率と求人数

求人倍率（本校）	全国平均	求人企業数	求人数
1.94	1.37	217社	291人

### (3) その他

- 進路指導・キャリア教育推進委員会を設置し、インターンシップの内容や計画、基礎学力テストの内容など、進路指導、キャリア教育に関する事項について検討する。
- きめの細かい資格取得指導を継続する。
- すべての教員による面接指導を継続して実施し、さらに内容を充実する。
- 職業理解能力や職業選択能力をつけさせるために、インターンシップの内容を検討するとともに、受け入れ企業数や参加生徒者数の向上にむけた取組を進める。
- 地元企業熟練技術者による実技指導など、地域の教育力を積極的に導入する。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立					
0人	12人	2人	22人	161人	0人	197人

\*毎年、すべての就職希望者が正社員として内定している。

## 2 高校生活について

- 基礎基本の学力向上のため、昨年度から全学年で取り組んでいる「キャリアアップテスト（10分間小テスト）」・「基礎学力テスト」について、継続的に協議・検討し改善を行う。
- 小中学生に「ものづくり」の楽しさを伝えるために、出前授業や公開講座を実施する。
- 地域の各種行事やイベントに積極的に参加し、地域関係者との連携を強化する。
- 建築コンペ・ものづくりコンテスト・ロボット競技大会に積極的に参加し、確かな技術・技能を持つ生徒を育成する。

※ 参考：昨年度、日大建築コンペで最優秀賞

- クラブ活動の活性化を図る。

※ 参考：甲子園2回出場の野球部をはじめ東海・全国大会に出場する運動クラブが多数ある。  
生徒の6割が運動部に、2割が文化部に所属している。  
工業高校では珍しく吹奏楽部と茶道部があり、落ち着いた雰囲気形成している。

# 平成25年度 宇治山田商業高校の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

### (1) 全般

- キャリア教育の視点で適切な進路指導を行い、個性の伸長を図り、将来の進路の研究に努める。
- 就職・進学両面の充実と基礎学力の向上に努め、就職にも進学にも強い学校を目指す。
- 基本的な生活習慣及びコミュニケーション能力を身につけさせる。
- 個々の生徒に応じた進路選択の援助・指導とその進路保障に努める。

### (2) 進学に関する取組

- 上級検定取得資格を生かした大学進学指導の充実を図る。
- 多様化する入試制度に対応すべく、情報収集に努め、生徒の進路実現を図る。
- 生徒の希望に添えるよう、きめ細かな指導と情報交換に努める。

### (3) 就職に関する取組

- 雇用環境悪化の中、事業所訪問など求人開拓を行い、求人企業の確保に努める。
- 事務職採用の減少への対応と鳥羽志摩地区生徒の地元への就職対策を図る。

### (4) その他

- 商業系、英語系、国語系など、さまざまな資格の取得を奨励する。
- 小論文指導講座を開催し、教員の指導力向上に努め、学校全体で小論文指導に対応する。
- 全教職員により事前準備に取り組むなど、学校全体で面接指導に対応する。
- 商業科の科目「課題研究」において、ネットショップや商品開発に取り組む。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立	24人	48人	84人	2人	241人
7人	76人					

## 2 高校生活について

- 自ら、爽やかな挨拶や適切な身だしなみができる自律した生徒の育成を図る。
- 日商簿記検定、全商検定、英語実務検定などの高度な資格検定取得にむけての計画的な学習活動による、生徒の学習への意欲や学力の向上を図る。
- 海外語学研修や姉妹校交流などの国際交流を通じて国際理解を深め、視野の広い知識と態度を身につけた生徒の育成を図る。
- 各教科の学習および特別活動において図書館と連携し、生徒が積極的に読書活動に関わることを図る。
- ホームルーム活動や生徒会活動および部活動への全員加入により、人間形成やコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、部活動のさらなる活性化を進める。
- 高度な専門性を持つ教職員の指導による、運動系および商業系クラブの全国レベルの活動の一層の推進を図る。

# 平成25年度 明野高校の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

### (1) 全般

- 入学当初からキャリア教育を充実させ、自らのキャリアプランに沿った人生を送ることのできる生徒を育成する。
- 学習支援体制を確立し、生徒に進路希望を実現できる力をつけさせる。
- 生徒の基礎学力を向上させるとともに、各専門学科の専門性を高めることを追求する。

### (2) 進学に関する取組

- 専門性を活用した進学制度の利用など、さまざまな方策を調査・検討し、すべての生徒が進路希望を実現できるよう支援を行う。
- 進学補習と面接指導の充実に努める。

### (3) 就職に関する取組

- 就職先の自己開拓や未就職を減らし、また、早期離職を防止するために、生徒の職業意識を早期から育成する。
- 生徒の基礎学力を向上させられるよう取り組むとともに、面接指導を充実する。
- 新規事業所を増加させるために、求人開拓に取り組む。

### (4) その他

- 地域の小学生との田植えや稲刈り、また、ジャムの一般販売や農業バザーなど地域の人々との関わりの中で、生徒たちが指導的役割を果たし、働くことの喜びを感じられるような機会を設ける。
- 各種検定の合格や資格の取得に向けた取組を進める。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立	14人	50人	110人	3人	189人
1人	11人					

## 2 高校生活について

### (1) 学習活動

恵まれた施設のもと、各科の目標とする技術や技能を身につけるべく努めている。資格取得にも力を入れており、特に福祉科では2年連続「介護福祉士国家試験」合格率100%を果たした。

### (2) 地域連携

地域との連携に力を入れており、年間十数回の地域イベントへの参加や、幼稚園、小学校との連携事業に取り組んでいる。昨年より市民講座（体験教室）や伊勢市商店街との協賛事業等、開かれた学校づくりを積極的に進めている。

### (3) 部活動

運動系・文化系合わせて23のクラブがあり、クラブ加入率は73%である。女子生徒が多いこともあり、女子のクラブが活発で、ソフトテニス、バレーボールなど、県内の強豪チームとしてよく知られている。男子も部員不足の傾向があるなかで、相撲部が国体に出場するなど頑張っている。

# 平成25年度 南伊勢高校（南勢校舎）の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

### (1) 全般

- すべての生徒が、卒業後の進路について考える機会が増えるようにガイダンスや進路指導部による個別面談を実施するなど、生徒の発達段階に応じた計画的で系統的なキャリア教育を実践する。また、各取組後にアンケートを実施し、卒業後の進路が具体的に考えられているかを検証する。
- 生徒一人ひとりの進路希望に応じた学力の定着を図り、進路実現につなげる。

### (2) 進学に関する取組

- 教員が大学・短大・専門学校などの説明会に積極的に参加する。
- 保護者と生徒が大学・短大・専門学校などを見学する機会を設け、早期からの進路意識の醸成を図る。
- 南伊勢町より派遣されている塾などの講師と教員が連携して、進学補習に取り組む。

### (3) 就職に関する取組

- 南伊勢町により採用されている「就職支援員」（県の就職支援相談員を併任）とともに、生徒に対する進路指導や求人開拓のための事業所訪問に積極的に取り組む。

### (4) その他

- 町職員への継続的な採用など、南伊勢町との連携をさらに推進する。
- 生徒の進路希望に合わせた放課後補習等を実施する。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立	5人	21人	29人	5人	70人
1人	9人					

\*うち公務員関係5人

## 2 高校生活について

- 基礎学力向上ウィークの設定や「天声人語」の書き写し、「マナトレ（学び直し学習システム）」の実施など、基礎学力を充実させる取組を、学校全体で系統的に実施する。
- 南伊勢町立南勢中学校との連携型中高一貫教育（平成15年4月～）において、系統的なキャリア教育の取組を推進するなど、質的向上を図る。
- 小規模な学校であるため、多くの部活動を設置できない面はあるが、野球部、バスケットボール部は度会校舎と合同で試合に出場するなどの工夫により活動を行っている。
- 「南伊勢高校の今後を考える会」「中高連絡会」など地域と連携した会議において、南伊勢町の生徒をどのように育てていくかという観点から協議を行う。
- 生徒たちが地域のことを学びながら、地域にある課題をビジネスの手法で解決していこうという取組として、南伊勢町、地域産業界、大学関係者、金融機関等と連携して「社会ビジネス創出プロジェクト」（SBP）を推進する。
- 防災教育を推進するため、南伊勢町、南伊勢町商工会、三重大学等と連携して、生徒がデジタル版津波防災マップ作成や、南伊勢町検定のテキストづくりに参画する。
- 度会校舎との校舎間交流を積極的に進め、度会町における茶摘み体験や五ヶ所湾におけるシーカヤック体験など相互の自然を活かした交流を推進する。
- 南伊勢町広報の「南伊勢高だより」や地元ケーブルテレビを活用し、積極的な情報発信に努める。

# 平成25年度 南伊勢高校（度会校舎）の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

### (1) 全般

- 高校3年間における系統的なガイダンスや個別面談、インターンシップなど、生徒の発達段階に応じた計画的なキャリア教育を実践する。また、ガイダンスなどの後にアンケートを実施し、生徒の進路に対する意識について検証する。
- 生徒個々の進学・就職先の選択幅を広げ、進路目標を実現できる力を養う。
- 体験的学習を多く取り入れ、コミュニケーション力、人間関係形成能力、基礎学力の定着・向上を図る。

### (2) 進学に関する取組

- 大学・短大・専門学校の説明会やオープンスクールへの積極的な参加を促す。
- 第1学年から早期の進路意識の育成に取り組む。

### (3) 就職に関する取組

- 求人開拓のために事業所を訪問し、より多くの求人獲得を目指す。
- 早期離職を防ぐ対策として、農業体験や福祉体験等の体験学習や工場見学等を第1学年より実施し、進路意識の育成を図るとともに、卒業生の就職先事業所訪問を実施する。
- 一人ひとりにきめ細かく進路指導を行うことにより、就職内定率100%の維持・継続に努める。

### (4) その他

- 訪問した事業所や学校の情報を整理して利便性を向上させるとともに、情報の蓄積と学校全体での共有を推進する。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立					
0人	5人	2人	26人	37人	0人	70人

## 2 高校生活について

- 全学年で実施している「朝の読書」や「マナトレ（学び直し学習システム）」、定期的な「基礎学力診断テスト」や週末課題（一般常識）による自学自習の習慣付けなど、基礎学力を充実させる取組を3年間で系統的に発展させる。
- 小規模な学校であるため、多くの部活動を設置できない面はあるが、野球部、バスケットボール部は南勢校舎と合同で試合に出場するなどの工夫により活動を行っている。陸上部ではインターハイ3位など顕著な成果も上げている。さらに部活動を充実させ、学校の活性化を図る。
- 地域の福祉施設等における交流や選挙事務の補助など、地域でのボランティア活動を積極的に取り入れ、地域で生徒が活躍できる機会を設ける。
- 厳しさと包容力ある手厚い指導により、生徒や保護者の満足度の向上を図っている。
- 南勢校舎との校舎間交流を積極的に進め、度会町における茶摘み体験や五ヶ所湾におけるシーカヤック体験など相互の自然を活かした交流を推進する。
- 度会町広報を引き続き活用し、地域への情報発信に努めるとともに、ホームページを頻繁に更新し、更なる充実を図る。

# 平成25年度 鳥羽高校の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

### (1) 全般

- すべての生徒が進路実現できるよう、関係機関と連携を深め、高校3年間を見据えたキャリア教育を推進する。
- 生徒が基本的な生活習慣や規律について理解し、高校生活と社会・企業との結びつきについて認識できるよう取り組む。
- 総合学科の特性を生かし、生徒のコミュニケーション力の向上に努める。

### (2) 進学に関する取組

- 進路相談の機会を増やし生徒の進学に対する意識を高めるとともに、課外授業を実施し、実力の定着を図る。
- 高大連携授業（鈴鹿国際大学・名古屋産業大学）を活用し、多様な学びの場を設定することにより、進学意識を高める。

### (3) 就職に関する取組

- 企業訪問を積極的に実施し、求人開拓に取り組む。
- 生徒の企業訪問や就業体験を計画的に実施することによって、就業意欲の向上に努める。

### (4) その他

- 総合学科の強みを生かし、「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」、各系列の専門性の高い授業や職場体験活動で、地域に学び、自尊感情、学習意欲を育む。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立	4人	37人	48人	19人	116人
0人	8人					

## 2 高校生活について

- 「みんなで創ろう！『輝く学校づくり』の研究」事業（県指定）を活用し、「わかる授業」を目指して授業研究や研修を行うことによって、教員の指導力の向上や授業の改善・充実に取り組む。
- ショートホームルーム時に漢字や計算練習、読書を取り入れることにより基礎学力向上に取り組む。また、基礎力診断テストの効果的な活用、シラバス開発等、基礎学力定着に向けた具体的な取組を検討し、できるものから実行に移す。
- 総合学科の系列に沿った学習を進めるとともに、地域と連携し、「観光をテーマとした学習」、「防災教育」の取組を学校全体で推進する体制づくりを行う。
- フェンシング部やレスリング部といった全国的に実績を残している部を柱として、部活動を活性化し、生徒の部活動加入者が増加するように取り組む。
- 生徒会を中心として、文化祭や体育祭など学校行事の活性化を図る。
- 鳥羽高校ニュースレターの発行（地域及び中学校向け）、ホームページのリニューアルなど、学校教育活動の広報を強化する。あわせて自治会回覧板での広報など、地域への情報発信に努めるとともに、地域住民へのアンケート調査を実施し、地域の要請や要望に応えることができているかどうかについて検証する。

## 平成25年度 志摩高校の進路指導及び高校生活について

### 1 進路指導について

#### (1) 全般

- さまざまな教育活動において、計画的にソーシャルスキルトレーニングに取り組む、人間関係形成能力やコミュニケーション能力を伸ばし、生きる力を育成する。
- 第1学年から企業や大学の見学を行うなど、早い時期からキャリア教育に取り組む、生徒の学習意欲の向上を図る。

#### (2) 進学に関する取組

- 放課後や長期休業中に課外補習を行うとともに、模擬試験の積極的な受験を促すことによって、生徒の学力向上を図る。

#### (3) 就職に関する取組

- 就職支援相談員と連携し、生徒の進路指導や就職相談に取り組むとともに、事業所訪問による求人開拓に取り組む。
- 企業訪問や就労体験によって、生徒の就業意欲の向上に努める。
- 就職内定後の指導を工夫することによって、早期離職の防止に努める。

#### (4) その他

- 漢字検定から簿記、情報処理検定といった専門的な資格まで、幅広い資格取得に向けた取組を進める。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立					
0人	18人	13人	50人	58人	1人	140人

### 2 高校生活について

- 教員一人ひとりが授業改善に取り組み「わかる授業」を目指すとともに、学び直し学習に取り組むなど、生徒の基礎学力を向上させることにより、高校生活の充実を図る。
- 学習面から生活面まで、個々の生徒に対してのきめ細やかな指導を実施し、満足度の高い学校づくりを図る。
- 生徒が少数であることを活かし、生徒全員が主役となれる体育祭や文化祭などの学校行事の充実を図る。
- 小規模校でありながら多くのクラブを設置するとともに、生徒の部活動への加入を促進し、部活動の活性化を図る。
- 生徒が地域のイベントなどに積極的に参加・協力し、地域住民との信頼関係の確立と地域に根ざした学校づくりに取り組む。
- 学校のホームページの更新を積極的に行い、学校行事やクラブ活動など生徒たちの日々の活動について情報発信に取り組む。



# 平成25年度 水産高校の進路指導及び高校生活について

## 1 進路指導について

### (1) 全般

- 将来の水産業界の担い手を育成する。
- 生徒の進路希望を実現させるために、第1学年から進路ガイダンスを実施するなど、早い時期からキャリア教育に取り組むとともに、保護者と連携しながら生徒の進路意識を向上させる。

### (2) 進学に関する取組

- 大学や専門学校の推薦入試枠の獲得を目指した取組を進める。
- より高度な資格の取得と水産業界関係への就職につなげるために、専攻科への進学者を増加させる。

### (3) 就職に関する取組

- 水産業界関連企業をはじめ多くの事業所を訪問し、水産業界関係を中心とした求人開拓に取り組むとともに、情報収集に努める。
- 船舶関係においては、仕事への理解を深めるとともに早期離職防止のため、企業での乗船体験等のインターンシップを行う。

### (4) その他

- 放課後や土日、長期休業中に補習を行うなど、生徒の資格取得に向けた取組をさらに強化する。
- 専攻科は、より上級の海技士資格取得に取り組む。

※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立	10人	17人	58人	3人	91人
1人	2人					

## 2 高校生活について

- 県内唯一の学科であり、施設・設備についても特徴的なものが多くあるという独自性を活かし、水産高校ならではの授業や実習を行う。また、そのことを通じ生徒にやりがいと自信を芽生えさせる。
- 生徒一人ひとりに丁寧に接する。
- ショートホームルームにおける独自教材による「朝トレ」の実施や長期休業中の補習などにより、生徒の基礎学力向上に努める。
- 小学校との交流などを通して、自分が必要とされる体験や他の人から認められる体験を得ることで、自尊感情の醸成を図る。
- 地域の祭りやイベントに積極的に参加するとともに、志摩市や地元漁協と連携して調査などに取り組むことによって、地域貢献活動への生徒の参加を促進する。
- 防災グッズ（サバCAN）を製造し防災イベントで配布するなど、地域の課題に密着した防災に関わる取組を進める。

## 平成25年度 伊勢まなび高校の進路指導及び高校生活について

### 1 進路指導について

#### (1) 全般

- 進路先の求める基礎学力やコミュニケーション能力、生活習慣などが定着するよう、各授業において取組を推進する。
- 就業体験により働く喜びを実感できるよう、未就労の生徒に対して、アルバイトを奨励する。
- 就労において特別な支援が必要な生徒には、その生徒に応じた就労先の開拓と就労支援を行う。

#### (2) 進学に関する取組

- 大学・短大・専門学校などの情報を収集し、生徒の希望に応じた進路指導を行う。

#### (3) 就職に関する取組

- 学校への求人数が少ないため、ハローワークをはじめとする関係機関との連携や企業訪問などによる求人開拓を行う。

#### (4) その他

- 定期的な進路だよりの発行や進路講話の開催によって、進路に関する情報提供に努める。
- インターンシップを実施し、生徒の積極的な参加を促進する。

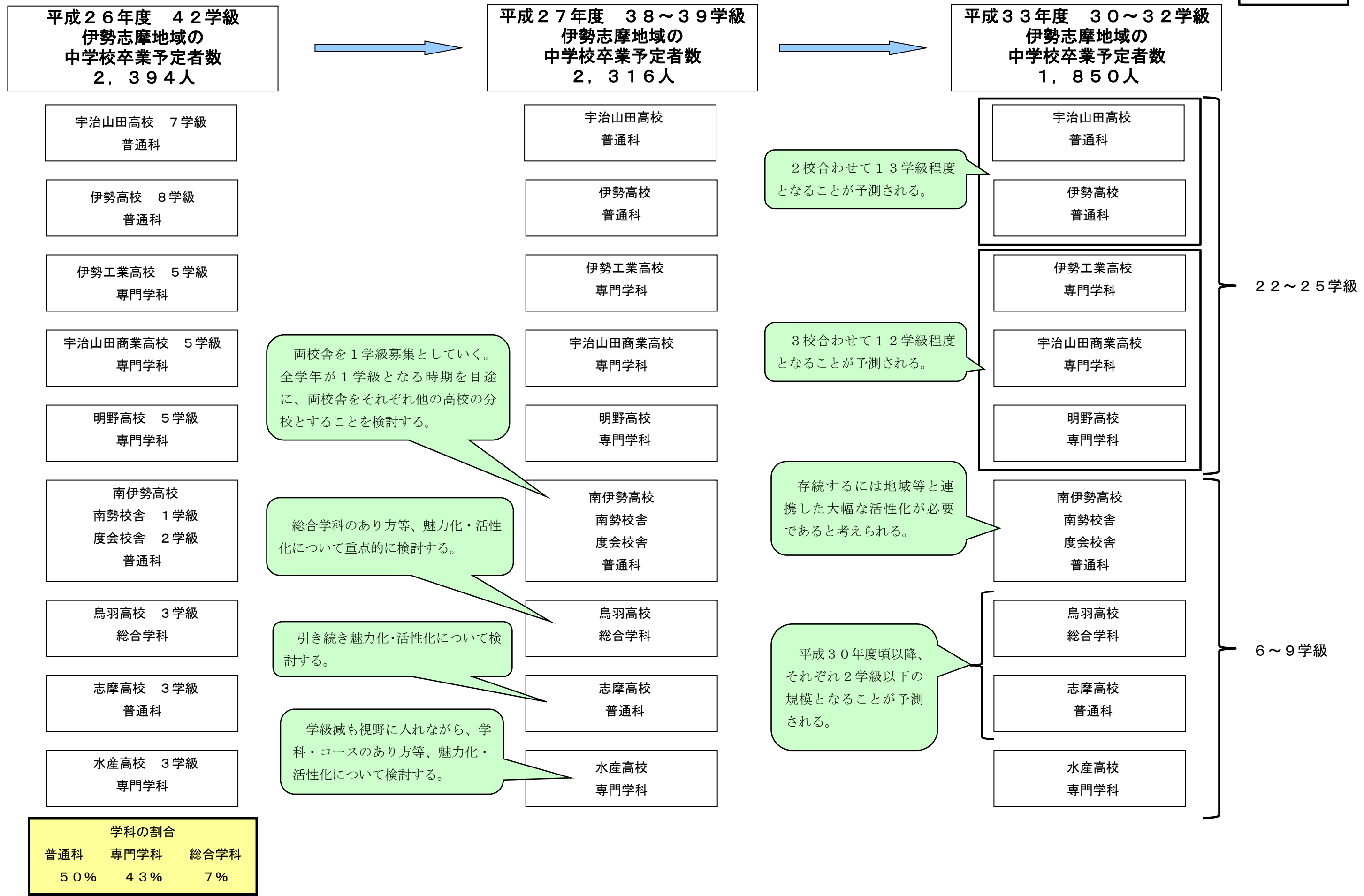
※ 参考：平成24年度卒業生の進路

大学		短大	専門学校等	就職	その他	合計
国公立	私立	3人	6人	19人	20人	51人
0人	3人					

### 2 高校生活について

- 学校設定科目として「レベルアップ基礎学力」を設置し、生徒の基礎学力の向上を図る。
- 学校設定科目として「コミュニケーション学習」を設置し、ソーシャルスキルトレーニングをおこない、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- 放課後にソーシャルスキルトレーニングの時間を設け、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- 部活動においても、生徒の技術向上だけでなく、コミュニケーション能力の向上を図る。

# 伊勢志摩地域の県立高校（全日制）の適正規模・適正配置について（案）



※伊勢志摩地域における県立高校と私立高校の募集定員の比率、中学校卒業者が市町を越えて高校進学する比率が、現在と大きく変わらない場合の予測に基づく。  
 ※地域における募集定員の普通科・専門学科・総合学科の比率、伊勢市内の高校と鳥羽・志摩・度会地域の高校の比率が、現在と大きく変わらない場合の予測に基づく。  
 ※中学校卒業予定者数は、平成25年5月1日時点の教育総務課による調査に基づく。